

一般社団法人日本小児血液・がん学会
第83回理事会議事録

日 時:2024年11月11日(月) 15:00~17:00

開 催:ZOOMによるオンライン開催

出席者:米田 光宏、加藤 元博、盛武 浩、家原 知子、上原 秀一郎、大植 孝治、大平 美紀、
木下 義晶、富澤 大輔、真部 淳、山崎 文之、余谷 暢之、滝田 順子、後藤 裕明、
櫻井 英幸、竹之内 直子、野上 恵嗣(以上理事)
多賀 崇、滝 智彦(以上監事)
足立 壯一(第66回学術集会長)、田尻 達郎(第67回学術集会長)、
松本 公一(第68回学術集会長)

欠 席 者:義岡 孝子(以上理事)

冒頭に、本日の理事出席者数は理事18名中17名であり、定款施行細則第8条第3項に定める成立定足数を満たしているため、本理事会は成立することを確認し、理事長 米田光宏は議長となり、議長席に着き審議に入った。

I. 前回議事録(案)の確認

議長より、前回理事会議事録(案)が示され、議場にその承認が求められたところ、異議なく承認された。

II 審議事項

1. 入会申請者の件

庶務・財務委員会の上原担当理事より、現在の会員数の報告とともに入会申請者が示され、議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。

2. 常設委員会新体制について

米田理事長より、常設委員会の各担当理事より、前回の理事会以降に推薦された委員候補について資料に示され、議場にその承認が求められ、異議なく承認された。

3. 新小児腫瘍専門医(仮)の制度設計について

専門医制度委員会の富澤担当理事より新小児腫瘍専門医(仮)の制度設計について資料に示され、その承認が求められ、異議なく承認された。

小児腫瘍専門医(仮)の呼称については引き続き検討することが提案された。

4. 専門医制度施行規則および細則における小児がん認定外科医に関する事項の改訂について

専門医制度委員会の富澤担当理事より専門医制度施行規則および細則における小児がん認定外科医に関する事項の改訂について資料に示され、議場にその承認が求められ、異議なく承認された。

5. 臨床研究法の改正について

米田理事長より、臨床研究法の改正について資料に示され、米田理事長主導で年内を目途にパブリックコメントを行うこととし、議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。

6. 2024年度各賞受賞者について

学会賞等選考委員会の滝田理事より2024年度各賞受賞者について資料に示され、異議なく承認された。

7. 日本臨床腫瘍学会学術集会(2026年開催)における合同企画開催について

2026年3月26日(木)~28日(土)にパシフィコ横浜で開催される、日本臨床腫瘍学会学術集会(2026年開催)における合同企画開催について資料に示され、異議なく承認された。

8. 教育セミナー、地区セミナー開催に際しての企業との契約について

教育研修委員会の大植担当理事より、2025年7月に開催する「教育セミナー」、および、本年度の地区セミナー開催に関連する包括契約について、昨年度に引き続き公募を行うことが資料に示され、

異議なく承認された。

9. 「がんの子どもを守る会」海外留学助成応募者の選定について

教育・研修委員会の大植担当理事より、「がんの子どもを守る会」海外留学助成応募者の状況について現状報告され、教育・研修委員会にて候補者1名を選定後、理事会で審議を行うことが異議なく承認された。

10. 第69回小児血液・がん学会学術集会長について

米田理事長より、第69回(2027年)日本小児血液・がん学会学術集会長について、立候補者である康勝好氏(埼玉県立小児医療センター)の選任について示され、異議なく承認された。

11. 小児がん経験者の栄養管理に関する小児血液がん学会評議員アンケートについて

米田理事長より、小児血液がん学会評議員を対象に小児がん経験者の栄養管理に関するアンケート調査依頼があったことについて資料のとおり示され、学術・調査委員会で実施可否を検討することとなった。

12. 国立研究開発法人国立成育医療研究センターとの2024年度業務委託契約について

国立研究開発法人国立成育医療研究センターとの2024年度業務委託契約について資料に示され、異議なく承認された。

13. 学術集会時社員総会の開催日程と次第について

学術集会時社員総会の開催日程と開催方式について示され、12月14日(土)18:35~19:15(現地会場:国立京都国際会館2階/第1会場 Room A)にてオンライン中継も行うハイブリット形式で行うことが異議なく承認された。

14. 新生児から成人期までに発症する特発性血栓症の診療ガイドの出版契約について

「新生児から成人期までに発症する特発性血栓症の診療ガイド」の出版契約書案が資料に示され、異議なく承認された。

15. 転載料改定に伴う覚書について

出版社の転載料の改定に伴う転載利用料に関する覚書が資料に示され、異議なく承認された。

16. ダウノルピシン安定供給に関する要望書について

保険診療委員会後藤担当理事より、ダウノルピシン安定供給に関する要望書について資料に示され、異議なく承認された。

III. 報告事項

1. 庶務報告

庶務・財務委員会の盛武副担当理事より、本会の正会員、評議員、賛助会員等の会員状況について報告された。

2. 学術集会報告

1) 第66回日本小児血液・がん学会学術集会報告

足立会長より、2024年12月13日(金)~15日(日)に国立京都国際会館にて開催する第66回学術集会の準備状況について、順調に進めていることが報告された。

2) 第67回日本小児血液・がん学会学術集会報告

田尻会長より、2025年11月19日(水)~21日(金)に開催される第67回学術集会について、現在上級演題の検討中であることなどが報告された。

3) 第68回日本小児血液・がん学会学術集会報告

松本会長より、第68回学術集会について2026年11月12日(木)~14日(土)で開催予定であり、会場はパシフィコ横浜(仮押さえ済み)を検討していることが報告された。なお、運営事務局の選定については例年通りコンペを行うことが報告された。

3.委員会報告

1)学術集会プログラム委員会

学術集会プログラム委員会 家原担当理事より、委員会活動について下記の通り報告された。

- ・優秀ポスターの選定方法について
ポスター座長に採点を依頼し、その結果をプログラム委員会で審議し10-15演題程度、分野の偏りないように選定することとした。
- ・二重発表に関するルールについて
今年度中に現プログラム委員会として素案を作成し、次期委員に引き継ぎ、理事会に諮問を行い、一年程度パブコメの期間を作るなどを検討
- ・倫理的な課題について
原則として倫理委員会で定め、演題募集のHPにある通り、倫理審査が必要な演題は、倫理承認なしでは発表は認められないことが確認された。なお、倫理審査の必要性を把握しないで演題登録するなどについては個別対応を行う方針
- ・第67回学術集会に向けて
上級演題の担当を新・旧委員に割り振り確認した。次回の委員会にて上級演題の候補について審議予定

2)専門医制度委員会

専門医制度委員会 富澤担当理事より、委員会活動について下記の通り報告された。

- ・9月14日、15日に実施された2024年度小児血液・がん専門医試験について。
小児血液・がん専門医試験は25名(一般6名、血液専門医枠19名)中21名が合格。
資格更新については、小児血液・がん専門医は17名、同指導医は3名、小児がん認定外科医は14名全員が資格更新。みなし指導医2名を認定した。
※小児血液・がん専門医認定新規申請および資格更新の際に、緩和ケア研修会(CLIC)受講歴が必須となるが、2025年度の資格更新対象者32名(129名中)の受講歴がないことが判明し、注意喚起メールを送付済み。今後も会員向けに注意喚起を継続する。

3)国際委員会

真部担当理事より、来年に開催される日韓セミナーのテーマを検討中であると報告があった。

4)患者体験調査

米田理事長より、患者体験調査について資料に示され、今後学会内において周知を行うと報告があった。

5)長期フォローアップ・移行期医療委員会について

米田理事長より、小児・AYA世代のがんの長期フォローアップ体制整備事業、長期フォローアップ・移行期移行期医療検討委員会の実施状況について報告された。

議長は、以上をもって本日の議案の審議を全て終了した旨を述べ、閉会を宣した。

以上の決議を明確にするため、出席した理事長及び監事がこれに記名押印又は署名する。

令和6年11月11日

日本小児血液・がん学会 第83回理事会

理事長 米田 光宏

監事 多賀 崇

監事 滝 智彦